



ラボの安全・法令対策

2026.08.19 開催

ALTAIR INNOVATION LIVE

アルテア技研グループ × オリエンタル技研工業

これだけは知っておきたい！ドラフトチャンバー再入門講座

ラボの安全を支える基本設備「ドラフトチャンバー」を、基礎から徹底解説。仕組み・正しい選び方から関連法規・労基申請・省エネ運用・定期点検まで、“これだけは知っておきたい”ポイントを90分に凝縮してお届けします。導入をご検討中の方も、既設設備を見直したい方も、ぜひお気軽にご参加ください。

その“知らない”が、重大事故とコンプライアンス違反を招きます

ひとつでも当てはまる方は、ぜひご参加ください。

- | | |
|---|---|
| ☒ ドラフトチャンバーの法規則を知らない方 | ☒ ドラフトチャンバーに定期点検が必要なことを知らない方 |
| ☒ 労基申請をしていないドラフトチャンバーを保有している方 | ☒ 局所排気装置の届け出（労基申請）をこれから控えている方 |
| ☒ ラボの施設管理が“今のままで大丈夫か”不安な方 | ☒ 新規導入・更新や、運用コストの見直しを検討中の方 |

日時 2026年8月19日(水) 13:00~14:30 (Microsoft Teams 形式、入退室自由)

主催 アルテア技研株式会社

共演 オリエンタル技研工業株式会社

参加費 無料

申込締切 2026年8月17日(月) 17:00 まで



多摩イノベーションスタジオ

お申し込み方法

【お申し込みフォーム】

下記の QR コードまたは URL よりお申込みください



QRコードURL: <https://forms.office.com/r/XX4TTMn3Nd>

※お申込みにより頂きました個人情報につきましては本セミナーへの参加受付を目的として使用させて頂きます。尚、この目的を達成するために必要な情報をセミナー協賛会社に提供する可能性がありますので、予めご了承願います。お申込みにより頂きました個人情報の保護につきましては、弊社ホームページに掲載しておりますプライバシーポリシーをご参照下さい。
アルテア技研株式会社 <https://www.altair.co.jp/privacypolicy/>

【お問い合わせ先】

アルテア技研株式会社 ウェビナー係

E-mail: tokyotama@altair.co.jp

PROGRAM

— 第1部 ドラフトチャンバーの基礎と選び方 13:00~13:45 (45分) —

1 会社紹介

ドラフトチャンバーをはじめとした実験設備のエンジニアリングメーカーである
オリエンタル技研工業株式会社および研究空間構築集団である 600 ホールディングスの取り組みをご紹介します。

2 ドラフトチャンバーの役割

有害なガス・蒸気・粉塵から作業を守る「排気装置」としての役割と、ラボの安全管理における重要性をご紹介します。

3 ドラフトチャンバーのしくみ

基本的な構造から、面風速・排気の考え方を分かりやすく解説します。

4 正しい使い方

サッシの開度や器具の置き方など、性能を最大限に引き出す操作のポイントと、「やってはいけない使い方」を紹介します。

5 選び方講座

ドラフトチャンバーは、実験内容や使用薬品によって、関連する法規則や機器の選定方法が大きく異なります。
ここでは実験内容編、各種法規則（有機則、特化則、粉塵則）編に分けて、機器の選定方法をご紹介します。

— 第2部 ドラフトチャンバーの届け出・運用・保守 13:45~14:30 (45分) —

1 労基申請について

ドラフトチャンバーは「局所排気装置」という装置に分類されます。設置に必要な「局所排気装置の届け出」とは何かー
いつ、どんな書類を、どのように提出するのか。申請の流れと注意点を実務目線で解説します。

2 ランニングコストについて —コスト試算から見る省エネタイプ解説

室内の空調空気を排出し続けるドラフトチャンバーは、ラボにおける大きなコスト要因の一つです。空調コストを抑える
省エネの基本思想をはじめ、低風量型モデルや VAV システムを用いたコスト削減アプローチを解説します。

3 ダクトレスヒュームフード

ダクト工事・屋外排気が不要な「ダクトレスヒュームフード」の特長を解説。
従来型との違いをはじめ、スムーズな導入のためのチェックポイント（導入条件・メリット・注意点）をまとめてご紹介します。

4 日頃の運用について

法令で定期点検（面風速測定など）が義務付けられているドラフトチャンバーは、正しい保守・管理が不可欠です。
安全基準を満たし続けるための点検のポイントから、明日から実践できる日常管理のチェックリストまで、まとめてご紹介します。

本セッションで得られるもの

自社に合う機種を選ぶ「判断基準」

取り扱う物質と有機則・特化則・粉塵則の関係を理解し、実験内
容に最適なドラフトチャンバーを自分で選べるようになります。

コストを下げる「省エネの視点」

低風量型や VAV システムの考え方を知り、安全性能を落とさず
に電気・空調のランニングコストを抑えるヒントが得られます。

法令・申請を満たす「安心」

局所排気装置の労基申請（届け出）の流れと必要書類が分かり、
「自分たちの運用は大丈夫か？」という不安を解消できます。

事故を防ぐ「正しい使い方と点検」

性能を引き出す使い方と、面風速測定など定期点検のポイントを
習得し、日々の運用で安全を維持できるようになります。